

2022 年 3 月 31 日

横浜ゴム、第 8 回「生物多様性パネルディスカッション」をオンラインで開催

横浜ゴム（株）は 3 月 18 日、第 8 回「生物多様性パネルディスカッション」をオンラインで開催しました。パネリストに公益財団法人日本自然保護協会保護部の大野正人氏、司会進行役に（株）エコロジーパス取締役で江戸川大学講師の北澤哲弥氏をお招きし、「流域で守る生物多様性保全」をテーマに積極的な意見交換を行いました。

横浜ゴムは、2009 年より当社平塚製造所の地域住民の皆様と共に環境について考えるイベント「Think Eco ひらつか」を開催しており、そのプログラムのひとつとして「生物多様性パネルディスカッション」を設けて生物多様性の大切さを考える機会としてきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 2020 年よりオンラインで開催しています。今回のパネルディスカッションでは当社三重工場での水源地から工場排水の流下先の海岸までの生物多様性保全の取り組みや、各工場流域での活動が紹介され、企業が生物多様性を守る意味について議論を深めました。

横浜ゴムグループは、2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）の ESG 経営において「未来への思いやり」をスローガンに掲げ、事業活動を通じた社会課題への貢献を持続的な企業価値向上に繋げていきます。環境課題では「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「自然との共生」の 3 つを柱とし、それぞれに中長期目標と達成に向けたロードマップを設定しています。「自然との共生」では持続可能な天然ゴム調達の取り組みや、国内外の工場での従業員による全員参加型の生物多様性保全活動を推進しています。



オンラインで開催されたパネルディスカッションの様子

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570